

東久留米市立南中学校 第2学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	・語彙力が不足している生徒がいる。	・毎時間宿題を出し、漢字練習や語句の確認の定着を目指す。	○毎時間の確認と、小テストの実施。正答率70%を目指す。
	・文章を書く際に適切な漢字を選ぶのが苦手な生徒がいる。	・辞書を活用し、文章を書くことに対する抵抗感を減らす。丁寧な推敲を行うよう指導する。	○200字の作文を誤字なく15分程度で書けるようにする。長文になっても誤字5%以下を目指す。
社会	・歴史に関わる用語を別の用語と間違えて覚えている生徒が見られる。	・用語を年表や模式図に表わす学習活動を多く取り入れる。	○年表、図で表わす作業を取り入れた授業を実施する。（各学期1回以上）
	・産業等の資料を基に、日本の諸地域の特色を理解できない生徒が見られる。	・農業や工業等の資料を読み取る学習活動を丁寧に行う。	○ワークシートや白地図などを提出させ、80%以上の生徒ができるようにする。
数学	・主に、文字式の計算力の定着に個人差が見られる。	・計算問題テストをできる限り実施する。	○計算問題テストでは、正答率70%未満の生徒は講義および再テストを実施する。
	・見方考え方に関する問題についての読み取りや問題解決に課題がある。	・授業では、主体的に見方考え方に関する問題を取り扱い、考える力を育成する。	◎一単元に三つ以上の教科書に載っていない見方考え方に関する問題を取り扱う。
理科	・実験結果について、科学的に考察することが苦手な生徒が見られる。	・ワークシートを通して、結果と考察を分けて考えるようにさせる。	○ワークシートを確認し、科学的に考察した内容が書けている生徒が50%以上になることを目指す。
音楽	・音楽から感じ取ったことを言葉にして話したり、文章にしたりする力（作文力）に個人差がある。	・ワークシートの発問を工夫し、個人の考えや思いを記入してから、ペアや小グループ、学級全体での発表や話し合い活動へと共有の場を広げていく。	○表現活動に思いや意図をもち、表現する機会を設け、生徒の50%以上が音楽の良さを味わうことを目指す。
美術	・作品制作の手順をうまく考えられない生徒がいる。	・下絵のコピーに、制作の順番を描き込ませる。	○作品完成後の振り返りで、制作手順に関する自己評価がB以上の生徒が80%以上を目指す。
	・ポスター制作をすると、他人事のような内容の作品が多い。	・それぞれがテーマについて考えたり調べたりする時間を設ける。	○テーマを自分事として考えたスケッチを出せる生徒が70%以上になることを目指す。
保健体育	・学習した内容を理解することはできるが、体の動かし方に繋げることが難しい生徒がいる。	・学習カードを活用して、知識の理解を定着させる。	○学習カードの記入状況や評価テストを実施して検証し、運動の特性をおおむね理解できるB評価の生徒が、80%越えることを目指す。
	・複数の表現と練習方法を提示してアプローチする。	・授業の振り返りを通して、できたこととできていないことを明確にさせて、自分の課題に気付かせる。	○運動の特性をおおむね理解できるB評価の生徒が、80%越えることを目指す。

技術	・学習内容と自身の暮らす社会や生活との関わりを捉えられていない生徒がいる。	・各授業において自身の生活での経験を基にした活動を行う。	○授業の振り返りにおいて、生活と関連付ける生徒が80%以上になることを目指す。
家庭	・関心は高いが、生活経験が少ないので実生活で結び付けることができにくい傾向が見られる。	・生活の中で、問題を発見し解決方法を提案し生活をよりよくするために、レポートを取り入れる。	○各自生活の中での課題を見付けレポート提出、おおむね良好のB評価の生徒が80%以上を目指す。
	・作品製作で、得意意識の生徒と苦手意識の生徒の差が大きく、進度において差が出てしまう。	・毎時の各自の目標を明確にさせ、しっかりと取り組む意識をもたせる。	○達成感を味わえるよう、作業の遅れる生徒には個別指導を行い未完成の生徒が出ないようにする。
外国語	・書くことに抵抗のある生徒がいるため、発声はできても文字で書き表すことができない生徒がいる。	・定期的な単語テストや書き取りテストを行うことで、書くことに慣れさせる。	○単語テスト（スペリングコンテスト）で80%の生徒が合格点をとる。再テストを何度も繰り返す。
科特別の徳教	・授業中の発問に対して、他者との話合いで自分の考えを深めていくことが苦手な生徒がいる。	・話合いの時間を多くとり、ワークシートなどを通して他者の意見を聞いて考える機会を増やす。	○ワークシートを活用して評価する。5割以上の生徒が他者の意見を参考にして書けるようにする。
の総合的な学習	・課題の設定ができていない。	・日常生活や社会に目を向けさせ、生徒自身の疑問や関心を高めていく。	○80%以上の生徒が自ら課題を見付けることができる。
	・情報の収集・整理・分析ができていない。	・新聞作成では、まとめや表現することができない生徒に見本を提示しながら助言をする。	○80%以上の生徒が新聞を作成できるようにする。